

ガイドライン策定に向け検討すべき論点、議論の進め方等について (WGでの議論を進めるに当たり確認すべき事項等)

1. ガイドライン策定に向けた基本的な考え方

以下、日本再興戦略2016（平成28年6月2日閣議決定）より抜粋

① 大学・国立研究開発法人に対するガイドラインの策定

一般社団法人日本経済団体連合会が本年2月に取りまとめた提言「産学官連携による共同研究の強化に向けて」には、本格的な産学官連携の実現に向けて、産業界から見た大学や国立研究開発法人等の課題として、企画提案機能を含めた産学官連携の推進体制、知財の取扱い、営業秘密の保護、共同研究の経費負担の在り方や経費の使途の透明性の向上、相互のクロスアポイントメント制度を活用した人事交流の在り方等多岐にわたる課題が挙げられている。関係府省におけるこれまでの検討等をも踏まえつつ、産業界とも調整の上、産学官連携を円滑に推進する観点から、これらの課題に対する処方箋や考え方を取りまとめたガイドラインを関係府省が連携して本年秋までに策定する。なお、ガイドラインには産業界の取組が期待される点についても盛り込むものとする。

2. ガイドラインにおいて処方箋や考え方を示すべき課題と関係府省におけるこれまでの検討状況、WGでのさらなる検討が必要な事項等

本格的な産学官連携の実現に向けた大学や国立研究開発法人等の課題（日本経済団体連合会提言抜粋）	関係府省によるこれまでの検討状況（関連連報告書等）	ガイドライン目次	WGでの扱い	産学官連携深化WG 第4回で御議論いただきたい点（案）
「本格的に共同研究」実行に向けて、速やかな対応を要する点		2. 「組織」対「組織」で連携する上で、全ての大学・研究法人に期待される機能	第1回吉村委員より経団連提言等紹介	
・大学・研究開発法人の本部（産学連携本部等）における部局横断的な体制を構築し共同研究を推進する企画・マネジメント機能の確立	・「国立大学経営力戦略」（文科省） ・「イノベーション実現に向けた大学知的資産マネジメントの在り方について」（文科省） ・「イノベーションを推進するための取組について」（経産省）	2.（1）大学等の本部機能の強化	第2回事例紹介 KDDI：中村委員 NEC：江村委員 産総研：瀬戸委員 理研：松本委員 東工大：三島学長	
・資金の好循環に向けた管理業務の高度化・共同研究経費の見える化	・「本格的な産学連携による共同研究の拡大に向けた費用負担等の在り方について」（文科省）	2.（2-1）産学連携における費用負担の適正化・管理業務の高度化	第1回事例紹介 名古屋大学：木村委員 第3回事例紹介 江戸川委員・木村委員	
・知の好循環に向けた知的財産マネジメントの強化 ・リスクマネジメントの確立	・「大学の成長とイノベーション創出に資する大学の知的財産マネジメントの在り方について」（文科省）	2.（3-1）知的財産の活用に向けたマネジメント強化	第1回事例紹介 渡部委員 第2回事例紹介 大阪大学：正城総合推進企画部長 第3回事例紹介 JST：後藤理事 第4回事例紹介 林委員	○※第3回からの継続テーマ ・将来の共同研究につながる外国出願等の予算確保 ○産学連携を進展させるための取組の在り方 ・柔軟な共同研究契約の推進
	リスクマネジメント関係 ・「大学等における産学官連携活動の推進に伴うリスクマネジメントの在り方に関する検討の方向性について」（文科省） ・「大学における秘密情報の保護ハンドブック」（経産省） ・「大学等における職務発明等の取扱いについて」（文科省）	2.（3-2）リスクマネジメント強化	第1回事例紹介 飯田委員 第2回事例紹介 横河電機：高木室長	
・人材の好循環に向けたクロスアポイントメントの拡大	クロスアポイント関係 ・「「クロスアポイントメント制度」の基本的枠組と制度活用にあたっての留意	2.（4-1）クロスアポイントメント制度の促進（エフォ	第2回事例紹介 名古屋大学：財満副総長	○産学連携を進展させるための取組の在り方 ・大学－企業間のクロスアポイントメントが活用される仕組みの構築

	点」(文科省・経産省)	ート管理、リスクマネジメント含む)	第4回事例紹介 渡部委員	
研究成果の最大化に向けて、改革を要する点		3. 研究成果が一層社会で活用される上で不可欠な視点	第1回吉村委員より経団連提言等紹介(再掲)	
・資金の好循環に向けた財務構造改革・財務基盤強化	・「国立大学経営力戦略」(文科省) ・「イノベーション実現に向けた大学知的資産マネジメントの在り方について」(文科省) ・「本格的な産学連携による共同研究の拡大に向けた費用負担等の在り方について」(文科省)	3. (1-1) 大学等の財務基盤の強化	第1回海外事例紹介 上山委員	
・知の好循環に向けた高度な知的資産マネジメント ・研究の「価値」に関するプロモーション	知の好循環に向けた高度な知的資産マネジメント ・「イノベーション実現に向けた大学知的資産マネジメントの在り方について」(文科省)	3. (2-1) 知的資産マネジメントの高度化	第3回事例紹介 トヨタ：高原委員 三重大学：西村副学長 第4回事例紹介 多摩川精機(株)：熊谷常務取締役	○産学連携を進展させるための取組の在り方 ・地域におけるイノベーションの促進
			第4回事例紹介 渡部委員・吉村委員	○産学連携を進展させるための取組の在り方 ・ベンチャーを活用した産学連携システム
			第4回事例紹介 石山委員	・私立大学における知的資産マネジメントの高度化
	研究の「価値」に関するプロモーション ・関連報告書なし	3. (2-1) 知的資産マネジメントの高度化	第3回事例紹介 近畿大学：世耕広報部長	
・人材の好循環に向けた研究者(教員)の人事評価制度改革	・関連報告書なし(参考文献) ・文部科学省における研究及び開発に関する評価指針 ・研究者等の業績に関する評価に関する調査・分析報告書	3. (3-1) 産学連携が進む人事評価制度改革	第4回事例紹介 岡山大学：山本理事	○産学連携を進展させるための取組の在り方 ・研究者の人事評価制度改革
・産学官連携に関する「価値」の再認識	・「本格的な産学連携による共同研究の拡大に向けた費用負担等の在り方について」(文科省)	3. 研究成果が一層社会で活用される上で不可欠な視点		
その他		4. ガイドラインの実行による本格的な産学官連携の拡大に向けて		○産学連携を経営戦略に明確に位置づけ積極的に実践する大学の努力をどのように促していくか
第3回WGでのガイドライン素案に関する意見	ガイドライン案での対応			
①KPI(数値化)に対する考え方	① 各国立大学法人の中期目標・中期計画の達成状況の評価を行う(ガイドライン案別紙に加筆) 政府によるKPI(数値化)の提示は、数値が目的化する恐れがある一方で、個別の大学等における目標・計画の明確化を通じたPDCAサイクルを回すマネジメントの重要性は、「企画・マネジメント機能の確立」に記載している。			
②産学連携の多様な形態に対する扱い	② 事例集において、産学連携の多様な形態の事例(大学発ベンチャー、地域におけるイノベーションなど)を紹介。			
③産業界側の取組が必要な点等(各課題に対する大学からの視点、産業界からの視点での記載)	③ 産業界に期待される取組をガイドライン案に加筆。			
④プロボストの役割、部局の役割、アクションに繋がる目次の在り方等	④ プロボスト及び部局の役割を「組織的な連携体制の構築」に加筆。 アクションに繋がる目次については、経団連の報告を元に作成していることから一部修正。			